

平成26年8月

菊桜クラブ会員各位

菊桜クラブ

会長 池田 弘
副会長 山本俊樹

平成26年度OB戦及び菊桜クラブ総会のお知らせ

拝啓 会員の皆様方にはお元気でお過ごしと存じます。

さて、恒例のOB戦及び総会ですが、今年はスケジュールの関係で10月に行う予定です、奮ってのご参加をお願い申し上げます。

記

1. 開催日:平成25年10月12日(日)

2. スケジュール:

OB戦:10:30集合 11:00～競技開始

* 予定種目:100m・1500m・砲丸投・走幅跳

現役交流会:13:00-14:00(教室・当日ご案内)

総会・懇親会:15:00-17:00(小山台会館地下会議室) 03-5721-6171

総会・懇親会会費:

新旧顧問の先生方:ご招待

八中第1回卒～21回卒 :ご招待

高校第1回卒～19回卒 :4,000円(3,000円)

高校第20回卒～52回卒 :6,000円(5,000円)

高校第53回卒～62回卒 :4,000円(3,000円)

高校第63回卒～ :ご招待 ()内女性会費

お手数ですが、出欠のご返事は9月15日(必着)までにお願いいたします。

会費納入を忘れずに!

昨年度、冬期用の練習器具などを贈呈した関係で、会費の残高も少なくなっています。

出来る限り当クラブより援助したいと思っておりますので会費の納入をお願いいたします。

同封の郵便振込用紙或いは下記銀行口座までお振込みください。

会 費 : 社会人 3,000円 学生 1,000円

みずほ銀行 池袋支店

普通:1341051

名義:菊桜クラブ

パソコンメールアドレスの登録のお願い

同封の返信用はがきに必ずメールアドレス(**パソコンのアドレス**)を記入してください。

特に、以前携帯のメールアドレスを登録していただいている方で、アドレス変更をされた方は必ず再登録してください。

試合の予定、結果などをタイムリーにお届けします。

ご挨拶

陸上競技班顧問 佐藤 泰考

陸上班の主顧問をさせていただいております、数学科の佐藤泰考です。私自身、中学から大学の1年生まで陸上部の短距離に所属しており、その経験を活かし、自分に厳しく、限られた時間を計画的に無駄なく使い、自分のベストを更新できることを常とし、班活に取り組んでおります。

昨年、男子800Mで、目標としていた関東大会に出場を決め、先日では、五月に行われた東京総体都大会で、南関東大会に出場することはできませんでしたが、四種目にわたり、東京都決勝まで残るような結果を出すところまで成長してきました。

小山台の選手は、やればできます。余計なプライドや、あきらめる心に打ち勝ち、「自分に負けない。どんな状況においても、自分自身のベストを尽くす。」を合言葉に、班員一丸となり、頑張っていきます。陸上班の選手たちを、是非大会などの競技場で、ご覧頂けると嬉しいです。走りで、見ている人の心を動かす班活にしていきたいと思っておりますので、これからもよろしくお願い致します。

班長になって

畑中 優汰

今年度、班長を務めさせていただきます、畑中優汰(はたなかゆうた)です。よろしくお願いいたします。今年度は昨年度心配しておりました女子の選手に恵まれ、男女共に活気づいてきています。

さて、最近の陸班はとても良い雰囲気です。努力し続けるために必要不可欠な仲間を、誰もが得て、さらにお互いに記録を高め合っています。先輩方から引き継いだこの陸班を、後にもしっかりと繋ぐことが出来る様に努力していきます。ご協力をお願い致します。

平成26年度夏合宿について

日程: 2014年7月30日～8月3日

場所: 新潟県南魚沼郡湯沢町
ホテルアルパイン

新入部員紹介

卒業生進路先

◎短距離ブロック

前田崇人	大原朋珠	表そら
笠松乃惟	佐々木汐里	平林玲王那
間瀬有咲		

蔵元 一真 : 首都大学	高橋 侑汰 : 東京農業
村上 授穂 : 明治	野辺地 奈美
笠原 淳	北村 悠馬 : 中央大学
秋本 佳矢乃 : 法政	綴木 世智 : 学習院
山田 周史 : 早稲田	重原 芽久美 : 明治
村川 葉月 : 東京農業	和久 真夏 : 明治

◎中長ブロック

上田裕二	大村涼太	瀬瀬駿輔
佐野潤平	山本皓也	
岩永祥映	徳安亜佑奈	望月さお美

1年生:	男子:6人	女子:9人	計:15人
2年生:	男子:10人	女子:6人	計:16人
3年生:	男子:10人	女子:9人	計:19人

***** 2013年 主な記録 *****

2013年度

<春季大会>4月5日

男子				女子			
800m	2位	田村光輝	2'01"49	3000m	8位	吉高 藍	11'17"43
110mH	5位	笠原 淳	17"58	400mH	7位	山口 奈緒美	1'15"54
400mH	3位	真野 健太郎	59"08	やり投	6位	山口 奈緒美	26m23
4×400mR	2位	今泉、田村、関、真野	3'27"16		8位	大島 理緒	24m88

<東京都総体支部予選会>4月28~29日

男子				女子			
800m	1位	田村 光輝	1'59"87	OP三段跳	3位	笹目 奏海	10m18
4×400mR	7位	今泉、田村、関、真野	3'28"10	やり投	8位	山口 奈緒美	27m11
走高跳	7位	今泉 裕也	1m81	4×400mR	7位	三枝、庄司、野辺地、秋本	4'23"66

<東京総体>5月11,12,18,19日

男子予選				女子予選			
800m	4位	田村 光輝	1'58"35	OP三段跳	14位	笹目 奏海	10m14
110mH	5位	笠原 淳	16"89	やり投	11位	山口 奈緒美	29m89
走高跳	13位	今泉 裕也	1m80				
4×400mR	6位	今泉、田村、関、真野	3'26"74				

<学年別大会>6月22,23日

男子				女子			
800m 2,3年	1位	田村 光輝	1'58"53	走高跳 1年	5位	伊達 芽子	4m49
400m 共通	6位	真野 健太郎	50"94	100m 2,3年	5位	三枝 千晃	13"08
400mH 共通	3位	真野 健太郎	59"36	1500m 2,3年	7位	吉高 藍	5'07"96
4×400mR 共通	2位	今泉、田村、岡田、真野	3'28"61	三段跳 共通	3位	笹目 奏海	10m52
				やり投 共通	3位	山口 奈緒美	32m53

<東京都高体連選抜大会兼一年生大会>7月13, 14日

男子				女子			
800m	7位	田村 光輝	1'58"60	三段跳	6位	笹目 奏海	10m69

<第一支部夏季競技会>8月17日

男子				女子			
400m	2位	田村 光輝	51"08	100m	3位	三枝 千晃	13"45
	5位	真野 健太郎	52"19	1500m	3位	吉高 藍	5'11"71
4×100mR	7位	嶋田、木村、真野、岡田	45"70	4×400mR	4位	三枝、庄司、笹目、山口	4'22"33
4×400mR	2位	今泉、田村、岡田、真野	3'27"86	三段跳	2位	笹目 奏海	10m22
走高跳	2位	今泉 裕也	1m81	砲丸投	1位	三枝 千晃	8m93
走幅跳	8位	岡田 吉史	5m68	やり投	1位	山口 奈緒美	33m06
					4位	大島 理緒	26m78

<東京都新人大会 第一支部予選会>8月29, 30日

男子				女子			
400m	7位	真野 健太郎	51"25	4×100mR	8位	山口、笹目、庄司、三枝	51"71
800m	1位	田村 光輝	1'57"92	4×400mR	8位	三枝、庄司、笹目、山口	4'17"49
4×100mR	8位	嶋田、木村、真野、岡田	44"76	三段跳	3位	笹目 奏海	10m29
走高跳	4位	今泉 裕也	1m84	砲丸投	4位	三枝 千晃	9m03
				やり投	3位	大島 理緒	31m52
					5位	山口 奈緒美	28m82

<東京都新人陸上競技大会>9月21~23日

800m	3位	田村 光輝	1'56"49
------	----	-------	---------

<第一支部 秋季大会>11月9, 10, 17日

男子				女子			
400m	6位	岡田 吉史	52"01	200m	3位	三枝 千晃	26"77
	8位	今泉 裕也	52"50	1500m	4位	吉高 藍	5'12"42
800m	2位	田村 光輝	2'02"13	3000m	7位	吉高 藍	10'49"95
走高跳	3位	今泉 裕也	1m81	4×100mR	7位	山口、笹目、庄司、三枝	53"28
				4×400mR	8位	三枝、庄司、神足、山口	4'15"35
				三段跳	4位	笹目 奏海	10m01
				砲丸投	3位	三枝 千晃	8m87
				やり投	5位	大島 理緒	28m60

2014年 高校総体予選 ～激闘の記録～



<高校総体支部予選>4月26, 27日

男子			
走り高跳	今泉裕也	1m84	5位
400m	田村光輝	50秒34	3位
	真野健太郎	51秒57	8位
800m	田村光輝	2分2秒39	3位
	真野健太郎	2分4秒01	5位
4×100mR	今泉・木村・真野・岡田	44秒18	8位
4×400mR	今泉・田村・岡田・真野	3分26秒79	2位

総合男子支部第5位
総合女子支部第6位

女子			
1500m	吉高藍	5分5秒85	8位
3000m	吉高藍	10分59秒34	8位
砲丸投げ	三枝千晃	9m16	6位
	山口奈緒美	33m99	2位
やり投げ	大島理緒	33m57	3位



<高校総体東京都大会> 5月10, 11, 17, 18日

男子			
400M	田村光輝	50秒93	23位
	真野健太郎	51秒21	27位
800M	田村光輝	1分54秒57	7位入賞

[自己ベスト]※小山台記録

南関東大会まで、あと0.01秒足りませんでした。

走高跳	今泉裕也	1M80	20位
4×100Mリレー	今泉・木村・真野・岡田	44秒04	[チームベスト]東京都第40位
4×400Mリレー	今泉・真野・岡田・田村	3分21秒80	[チームベスト](東京都第9位) ※小山台記録

女子			
1500M	吉高藍	5分2秒90	32位
		*小山台記録	
3000M	吉高藍	11分3秒54	33位
砲丸投	三枝千晃	9M96	12位
		*小山台記録	
やり投	大島理緒	29M81	20位
	山口奈緒美	35M47	7位入賞
		*小山台記録	



力を出し尽くした選手たち

副会長 山本 俊樹

今年の高校総体の都大会は7位入賞者が2人と関東大会まであと一步のところでした。

ただ、素晴らしい点は、都大会においてほとんどの選手が自己新記録を出して頑張ったことです。なかなか力が出し切れず、それであと一步という悔しさではなく、力を出し切って頑張った結果が7位入賞という輝かしい結果です。このいい流れを是非これからも続けてほしいと思います。今回都大会に出場したのはほとんどが3年生でしたが、努力すればここまでできるということを後輩の選手は感じ取ったはずです。

菊桜クラブとしてもできる限りの応援・支援をしてきたいと思しますのでよろしくお願いいたします。

2014年度 大会日程(予定)

7月 12, 13日	都選抜、1年生大会(駒沢)
8月 17日	夏季競技会(大井)
9月 6, 7日	新人戦支部(大井)
9月 20, 21, 22日	新人戦都大会
11月 3日	東京都高校駅伝大会 (荒川河川敷)
11月 8, 9日	秋季競技会(大井)

応援をよろしくお願いいたします！！

「定年退職しました」 ー懐しい「小山台高校」時代ー

(菊桜クラブ顧問) 岡野 進

菊桜クラブの皆様におかれましては、ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

さて、私事、「表題」のとおり、この3月を以って、44年間にわたる教員生活に終止符を打ちました。振り返りますと、東京教育大学(現筑波大学)卒業後、22歳の若さで、新米教諭として都立小山台高校に赴任し、6年間(非常勤を含めると8年間)勤めた後、山梨県立女子短期大学(現山梨県立大学)で12年間、そしてこの3月までの26年間は、明海大学経済学部助教授・教授として、勤務してきました。

この間、高校・大学の体育・スポーツ科学担当教員として、実技や講義、ゼミナール等の授業を行うとともに、専門の陸上競技では、現役選手として(大卒後10年間)活躍、また指導者(コーチ)として(今日まで)多くの優秀選手を育成してきました。さらには、研究者として、沢山の著書・論文を著しましたし、日本陸上競技連盟や日本体育協会の競技役員として、日本の強化(跳躍担当)コーチを務め、トップ・ジャンパーを指導したり、陸上競技の普及や公認スポーツ指導者の養成に務めたり、国体改革にも取り組んできました。

この様に、今日まで、授業や校務にとどまらず、選手・指導者・研究者・競技役員として、大変多忙な日々を送ってきましたが、自己の専門性を生かして活動・活躍できたことに、大変満足しております。

ところで、44年間という長い教員生活の中で、最も懐かしく思えるのは、やはり、22~27歳の「小山台高校時代」です。この6年間は、(授業や校務を行ないながら)陸上班顧問として生徒(選手)を指導するとともに、現役の走幅跳選手をやっていくという大変な日々でしたが、「指導と選手(競技者)との両立」を図ることへの挑戦は、非常に充実したものでした。

そして、その指導面においては、昭和45(1970)年、赴任した年の秋の都新人戦で、早くも、男子総合2位(日大二高が優勝)の快挙。翌年の都総体でも男子総合2位(日大二高が優勝)になることができました。その後も、(1年のブランクがありましたが)常に両大会総合2~5位の成績を残せましたし、女子も、昭和49(1974)年には、都総体で総合5位の成績を上げました。

「陸上班」として、このような素晴らしい総合成績を残せたのは、私の指導を素直に受け入れてくれた“文武両道”の優秀な選手(班員)の存在があったからですし、また陸上班(員)を、物心両面から支援して下さったOB会(菊桜クラブ)の存在があったからです。

いっぽう、私の走幅跳の方は、小山台高校赴任後4年間、7.20m台(*大学時最高=7.43m)と低迷していました。しかし、5年目の昭和49(1974)年には、久々に自己記録を更新(7.46m=日本選手権5位)。翌年も同記録ながら日本選手権2位(1cm差負け)入賞を果たしました。その後、「競技は若いときしかできない...チャンスは今しかない!」

との思いを巡らせていたとき、山梨県立女子短大(公募)での採用が決定。(多くの有望選手を残して去る無念さを抱きながら)週3日出講で良いということで、山梨県立女子短大への転任を決めたのでした。

転任後の5年間は、7.55m(スポニチ国際2位、1979)を跳んで初の日本代表(日中対抗主将・北京1979)になる等、実力向上。それには、「回転跳」の実践と研究からヒントを得た「踏切り前3歩駆け上がり」と「ダブルシザース(空中脚2回半交差)」の技術改良があったのです。

〔都立小山台高校陸上班8年間の活躍の跡〕 昭和45(1970)年~昭和52(1977)年

①全国高校総体(IH)入賞者

年	氏名	種目	記録	順位	場所
昭和46(1971)年	渡部 誠	400m	50.4秒	3位	徳島(鳴門)
昭和51(1976)年	中山栄三郎	110mJH	14.81秒	5位	長野(長野)

②南関東(高校総体)大会優勝者・入賞者

昭和45(1970)年	山川 薫	棒高跳	4.20m	5位	三ツ沢(神奈川)
昭和46(1971)年	渡部 誠	400m	50.0秒	3位	千葉(千葉)
昭和47(1972)年	渡部 誠	200m	22.5秒	2位	宇都宮(栃木)
	渡部 誠	400m	49.7秒	2位	宇都宮(栃木)
昭和49(1974)年	柴田登子	(女)走幅跳	5.28m	4位	甲府(山梨)
昭和50(1975)年	吉田 椿	100m	11.0秒	2位	上尾(埼玉)
	中島・渋谷 佐藤・吉田	4x100mR	43.5秒	5位	上尾(埼玉)
	沼尻百代	(女)やり投	36.62m	優勝	上尾(埼玉)
昭和51(1976)年	中島 実	走幅跳	7.06m	3位	国立(東京)
	中山栄三郎	110mJH	14.9秒	4位	国立(東京)
	西・中島 本間・佐藤	4x400mR	3.23.7	優勝(大会新)	国立(東京)
昭和52(1977)年	西 康宏	100m	11.3秒	2位	太田(群馬)
	本間康彦	800m	2.00.4	6位	太田(群馬)

合計得点(男子42点・女子9点)・・・合計51点) *1位=6点・・・1点

③各大会の優勝者・大会新記録

昭和45(1970)年	渡部 誠	第1回全日本ジュニア選手権(400m 49.5秒)	国立(東京)
昭和46(1971)年	山川 薫	第34回東京選手権(棒高跳 4.41m 東京高校新)	同上

中山栄三郎君を偲んで

高校29回 中島 実

2014年5月26日、中山栄三郎君が永眠されました。享年55歳、人生まだまだこれからというご年齢でした。私が中山君と小山台高校陸上班で出会ったのは、今から40年前、1974年のちょうど今頃のことだったと思います。数か月ラグビー班に籍を置き、その後陸上班にやって来られたというのが私の記憶です。以後、陸上班での三年間、慶應義塾競走部での四年間、共に陸上競技に明け暮れる青春時代を過ごし、大学卒業後は節目節目に、お互いの去就を確認し合いながら、社会の荒波に立ち向かう心の糧としてきたところであり、人それぞれ人生のピークと言えるタイミングが幾つかあるものです。結婚や子宝に恵まれることもその一つと言えるでしょう。しかし、私が知る限り中山君にはもう一つ大きなピークとなる時代がありました。それが、小山台陸上班での三年間だったと思います。

中山君の結婚式で祝辞を述べさせて頂いた際も「高校三年間の陸上人生とその集大成としてインターハイで入賞できたこと、それから本日よき伴侶を得たことは君の人生のピークとも言える出来事なので、今後君にはこれらに勝る幸せは訪れないだろう」と冗談めかして言った記憶が今でも脳裏をよぎります。

当時、陸上競技に関しては全くの素人だった中山君が、しかも陸上競技の中では最も高度な技術を要するハードル競技に打ち込み、最終的にはインターハイ5位入賞を果たしたことは、陸上班の歴史の中で長く語り継がれる快挙でもあったのです。

どうか、皆様、ここに掲示された第29回長野インターハイ決勝の中山君の雄姿をご覧になってください。

実は、私は今年3月に大学時代の仲間と中山君とお会いしています。酒こそ控えておられましたが、そんなに痩せているように見えませんでした。ただ、頭髮が無くなっており、癌が再発し、放射線療法等の抗癌治療を始められたことが分かりました。

その後4月には岡野先生の定年退官祝いの席でもお会いしましたが、一か月前と比べかなり痩せておられました。その時言葉を交わし、数日後手術をされることを知りました。帰り際に陸上班宛に多額の寄付をされたことなどと考え合わせ、私はその時、中山君は覚悟していると思いました。

二週間後、現在医師をしているある友人に中山君のここ2ヶ月ほどの様子を話して意見を聞いたところ、あくまでも推論と前置きをしたうえで、既に放射線等を使用した負担の強い治療は停止して、緩和ケアの段階に入られているのではないかと意見でした。

手術直後はさておき、どのようなタイミングでお見舞いに行こうか逡巡していましたが、大学競走部の同期の方と連絡を取り、5月22日に奥様に連絡させて頂き、正確な状況を察知、その後皆様に連絡させて頂いた次第です。あわよくばあと一週間早く状況を把握していれば、もう少し多くの方にお見舞いに行っていたのではないかと、今は悔恨の気持ちでいっぱいです。

最後のお見舞いの時、私は敢えて中山君と握手をしませんでした。

まだ、お会いできると思っていましたから。しかし、その後の容態の急変でそれも叶わぬこととなってしまいました。

飄々と爽やかに人生を駆け抜けた中山君、どうか安らかに眠り下さい。

補足：

上記のように故中山君から菊桜クラブに10万円の寄付をお預かりしました。

小山台高校陸上班のために、何か形に残るものに使わせていただきたいと思います。

(副会長 山本)

